

臨床・学術部

スタツフ向け実技講習会開く

少人数でいいね」と好評

歯科臨床・学術部は8月4、5日、「バキューム実習」、「シャープニング・スケリーングセミナー」をそれぞれ開き、参加したスタツフらは技術アップに努めた。

バキューム実習

バキューム実習では、を務め、13院所から15人、本島之副理事長が講師が参加した。3段階のレ



患者役でバキュームを受ける参加者(8月4日、大阪市港区)

ベル別で5人ずつのグループに分かれ、2時間わたって取り組んだ。口腔内を6ブロックに分け、それぞれに対応するバキュームチップの当て方や挿入角度などをビデオで学習した後、実習

シャープニング・スケリーングセミナー

シャープニング・スケリーングセミナーには11院所から15人が参加した。講師は歯科衛生士の福池久恵氏。シャープニングでは、スケララーについて刃と把柄部の関係や把とシヤ

に移った。初級グループでは、インストラクターが姿勢や角度、禁忌部位など細かく実践的なアドバイスをした。患者に痛みを与えずに済む方法や、落ち着くヘッドレストの位置について、実際に患者役を体験して学んだ。

参加者からは「少人数で丁寧に教えていただき、分かりやすかった」「患者役を体験することが新たな気づきがあった」などの感想が寄せられ、好評だった。

シヤの關係の説明を受け、たほか、映像でシャープニング方法を学習。シャープニングガイドを使って実習した。

スクララーを持つ指の位置や力が入り過ぎないことなどに注意しながら、安全で効果的な方法について学んだ。福池氏は、「シャープニングが不十分な

スクララーを使うと歯肉を傷つける原因になる」と強調。参加者からは、「しっかりと個別指導をしてもらえた」といった感想が寄せられた。

余技展、文楽鑑賞 夏の文化活動旺盛



文楽には47人が参加し、大阪古来の伝統芸能を堪能した。演目は「鈴の音」「西遊記」。公演後、桐竹勘十郎氏の案内で舞台裏見学が行われ、人形の魅せ方などについて解説を受けた。

桐竹勘十郎氏が舞台裏解説



桐竹氏(中央)と子どもたち

対論普天間基地はなくせる

日米安保の賛成・反対を超えて

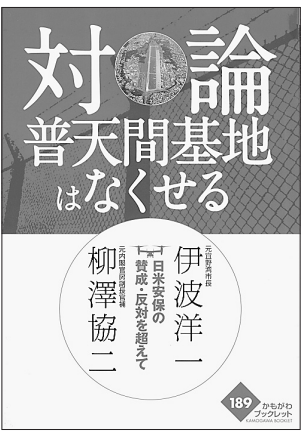
伊波洋一・柳澤協二 著

伊波洋一氏は沖縄県議会議員を経て宜野湾市長を二期務めた、基地のない平和な沖縄を求めて闘ってきた人物である。一方の柳澤協二氏は東大法学部卒で防衛庁に入

庁し、内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)まで務めた元防衛官僚である。立場と視点の違いを超えて、沖縄に海兵隊は不要で、普天間基地は無条件に撤去すべきという点で一致した

両氏の対論。先月、持ち込まれたオスプレイも日本国民に危険を与えるだけ、日本にとって合理的性がなくとも両氏は主張する。編集部による序文「この二人が一致する」ということは、国民的大多数が一致できることを

かもがわブックレット 定価600円(税別)



国民的大多数が一致できる

意味しています」に賛成である。1952年の旧安保条約、1960年の現行新安保条約で、アメリカ占領下時代の米軍基地をそのまま残すことになった。伊波氏は、残し方に2つの大きな問題があると主張する。一つは米軍基地の運用を米軍に委ね日本政府の関与を認めていないこと。もう一つは、米軍人とその家族や軍属が起した「公務外」の犯罪についても、重大な事件以外は日本の裁判権を放棄するという「密約」の問題である。「密約」は、帰宅途中の飲酒運転による事故なども米軍の「公務中」だとし刑事裁判権が及ばないようにしている。

柳澤氏は、いいか悪いかは別にして基地に戦略的な必然性がなければならぬとする。中国が対抗する相手になった今、中国と本気で事を構えようとしたら、中国のミサイルの射程距離内にある普天間基地はまずいという。軍事的バランスをとるなら、答えは沖縄への集中ではなく分散であると説く。普天間基地には必然性がないという結論にたどり着く。その上で、「辺野古の海を埋め立てて大規模な飛行場をつくれると思っ

ている政治家、官僚、政府の関係者はいないと思う、いないけれども、そうは言えない。官僚機構の特性としか言いようがない」と断言する。 反原発プロが安保闘争以来の盛り上がりだとも言われる現局面。運動が反原発、基地撤去ともつながり安保を乗り越えて盛り上がりてほしいと願う。(城東区・T・A)

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

堺・高石・和泉地区、泉州地区準備会 個別指導の傾向を探る―指導事項から見えてくるもの― 日時 9月13日(木)午後8時〜10時 会場 岸和田浪切ホール(南海本線「岸和田」駅徒歩15分) 話題提供 社保研究部講師団 会費 会員無料 定員 50人

医療現場のおもてなしとクレーム対応と言葉遣いと心遣い 日時 9月23日(日)午前10時〜正午 会場 M&Dホール 講師 水原道子氏(大手前短期大学准教授) 会費 会員院所スタツフ3千円 定員 100人

北大阪地区会員交流会 スタツフマネージメントの持論を見つけよう 日時 9月30日(日)午前10時〜正午 会場 千里朝日阪急ビル14階1号会議室(地下鉄「千里中央」駅から徒歩3分) 定員 40人 会費 会員無料 話題提供 福原稔氏(吹田市開業)ほか

大阪市南部地区 全身麻酔手術、抗がん剤治療と口腔の関係、周術期口腔機能管理算定に向けて 日時 9月30日(日)午前10時〜正午 会場 保険医会館2階 定員 40人 会費 会員無料、未入会者1万円 講師 大西徹郎氏(市立池田病院口腔外科部長)

大阪市東部・北部地区 心をギュッとつかむ話し方 ハッピートークトレーニング® 日時 10月7日(日)午後1時30分〜3時30分 会場 マイドームおおさか(中央区本町橋2-15) 講師 池崎晴美氏(フリーアナウンサー) 会費 会員無料、未入会者1万円 定員 100人

経営講座 歯科医院における持続的発展の要件 日時 10月14日(日)午前10時〜正午 会場 M&Dホール 講師 疋田英司氏(協会税理士団副団長) 会費 会員3千円、未入会者1万円 定員 100人

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です ※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。